

議会だより

NO.83

たからほ

2014年7月23日発行
宮崎県高千穂町議会

武道館アリーナを改修 (P2)
国保税を引き上げ (P6)
より安全な通学路の整備を (P9)



古祖母登頂(岩戸小)
記念碑を建てたよ!

これが聞きてえ!!

総括質疑



建設中の広域消防署

町有財産 売り払いは

質疑 町有財産売り払い収入588万円の内訳は。

答弁 旧五ヶ所小学校の教員住宅・押方保育園敷地・寺迫町有地・広域消防署用地などである。

雪害の支援 対策は

質疑 被災農業者向け経営体育成支援事業800万円は、雪害による被災者への支援対策か。

答弁 町内全地区の被害実態調査を実施した。倒壊ハウスの片付け費用と新規設置の補助事業で農業施設の復旧支援を行い、農家の生産意欲と所得向上に努める。



想定外の大雪じゃったのお

町有住宅の 払い下げは 公正・公平 か

質疑 旧五ヶ所小学校教員住宅の払い下げは公示したか。

答弁 数年前に公示したが購入者がなく、そのままだった。

25年度になって希望者があったため譲渡した。

今後は、防災無線・町広報誌などで周知を図り、公正・公平かつ適正価格で譲渡する。



木材市場

立木売り払 い収入は

質疑 立木売り払い収入201万円の内訳は。

答弁 親父山保安林の間伐と「あさひの森」整備による立木売り払いである。作業は森林組合に委託し、諸経費を除く収入額である。

専決処分に よる 税条例改正 は適正か

質疑 施行期日が28年1月1日で審議時間は十分あるのに専決処分の理由は。

答弁 条例の一部に26年4月1日より施行される事項があるため専決処分した。国・県の指導により県下一斉の条例改正であり適正と考える。



ここが売れました



傍聴に来たの〜

給付対象者が増加 年金受給者には5,000円の上乗せ



よかスティックを買おかのぉ

全員賛成で可決

一般会計補正予算は、7421万円を増額し予算総額は79億2421万円となります。歳入は、国庫補助金4640万円と基金繰入金1918万円が主なものです。歳出では、社会福祉費で特例給付金の対象者増加による4707万円と武道館のアーリーナ改修に604万円が主なものです。

6月定例会は、9日から24日までの16日間で慎重審議し、承認7件・補正予算5件・その他2件・人事案件1件・条例改正1件の合計16件を原案通りに全会一致で可決しました。

武道館アーリーナを改修

旧高城町の傷害事故により、本町でも緊急に体育館全施設の点検を実施しました。

その結果、特に武道館のアーリーナが急を要する改修が必要となりました。他の施設については、順次改修の予定ですが今年度は、上野体育館の屋根改修を実施します。



こりゃあぶね〜ばい

まもなく支給開始（特例給付金）

消費税の引き上げによる反動減を緩和し景気の下支え対策として、臨時特例給付金が支給されます。住民税の非課税者と児童手当の受給者が対象ですが、年金受給者はさらに5000円の上乗せがあります。今後の日程は下記の通りです。

6月 … 対象者に通知

7月1日 … 申請受付開始

7月30日 … 支給開始

12月26日 … 申請受付終了

通知が来たら
早めに申請を

増税 31年ぶり改正 軽自動車税

車 種 ・ 区 分					ナンバー 色	標 準 税 額 (年額)			
						改定前	改定後	増 額	実 施 日
軽自動車	660cc以下	三輪			黄	3,100	3,900	800	H27.4.1以降 新車を購入 したものから 適用されます (中古車は適用外)
		四輪以上	乗 用	営業用	黒	5,500	6,900	1,400	
				自家用	黄	7,200	10,800	3,600	
			貨物用	営業用	黒	3,000	3,800	800	
				自家用	黄	4,000	5,000	1,000	

平成28年4月1日以降、**重課税**が新たに適用されます。

車 種 ・ 区 分					ナンバー 色	重 課 税 額 (年額)		
						改定前	改定後	実 施 日
軽自動車	660cc以下	三 輪			黄	0	4,600	H28.4.1以降 新 車 登 録 を 受 け て 13年を 経 過 し た も の が 適 用 さ れ ま す
		四 輪 以 上	乗 用	営 業 用	黒	0	8,200	
				自 家 用	黄	0	12,900	
			貨 物 用	営 業 用	黒	0	4,500	
				自 家 用	黄	0	6,000	

※ 下記には**重課税は適用されません。**

車 種 ・ 区 分					ナンバー 色	標 準 税 額 (年額)			
						改定前	改定後	増 額	実 施 日
原動機付 自 転 車	50cc以下	二輪			白	1,000	2,000	1,000	H27.4.1以降 す べ て に 適用されます
	50cc以下	三輪以上 (ミニカー)			青	2,500	3,700	1,200	
	90cc以下	二輪			黄	1,200	2,000	800	
	125cc以下	二輪			桃	1,600	2,400	800	
軽 二 輪	250cc以下				白	2,400	3,600	1,200	
小型二輪	250cc 超				白	4,000	6,000	2,000	
小型特殊	農耕用	トラクター、農耕運搬車など			緑	1,600	2,400	800	
	その他	フォークリフト、ショベルなど			緑	4,700	5,900	1,200	

※ 不明な点は、税務課 (☎ 73-1201) へ お問い合わせください。

行政視察

4月21日から4月23日の3日間
沖縄県で調査しました。

「新たな誘客策を調査」

石垣市では、ARアプリをつかった観光地・観光施設への集客力強化事業について調査しました。同市は、農業・水産業・畜産業・観光業が盛んで特産品は、石垣牛・パイナップル・マンゴーなど。

昨年新石垣空港が開港し年間93万人が訪れる可

能性を秘めた市です。

ARアプリのARとは、拡張現実を意味し最近では、スマートフォンなどにこの技術を活用し携帯電話を見るだけで、目的地やイベント開催情報を知ることができるシステムのことです。

観光客（ARアプリ利用者）の市街地でのインターネット環境整備を重点的に行い今では1日500～600人が光ケーブルを利用されており、利用者の大半は20～30代です。

石垣市役所 (4月21日)

ホームページアクセスも12万4000件を記録し、年間ランニングコストは100万円弱でした。

今後の課題として『ARアプリをいかに使い易くするか』『誰が責任をもつて更新するか』を重要視していました。

夏や海のイメージが強い石垣島が、シーズンオフの誘客策に積極的に取り組みられており感心させられました。

東九州道、宮崎―延岡間が開通、九州中央道も開通すれば本町を訪れる観光客は確実に増加すると考えられます。高千穂観光新時代の幕開け準備には、大変相応しい視察でした。

「かひてい」(日本一)

沖縄本島中部部の金武町にある米軍施設「キャンプ・ハンセン」へは、米軍施設、軍事機器の視察に訪問しました。

沖縄県内最大規模の実弾射撃演習場であり、米兵



キャンプ・ハンセン内視察 (4月22日)

約5000人が駐屯している施設で、雇用されている日本人職員やパート従業員を含むと7500人となり、金武町の大きな雇用の場です。

基地のある沖縄の持つ複雑な関係も垣間見ました。

施設内には、兵舎、医療施設、銀行、映画館、沖縄県内で唯一の米兵の留置場があり小さな町のような感じです。

基地では、複数の電話回線を使用できる装置、数億円もする自動車搭載の移動式情報中継装置、ミサイル追跡なども可能

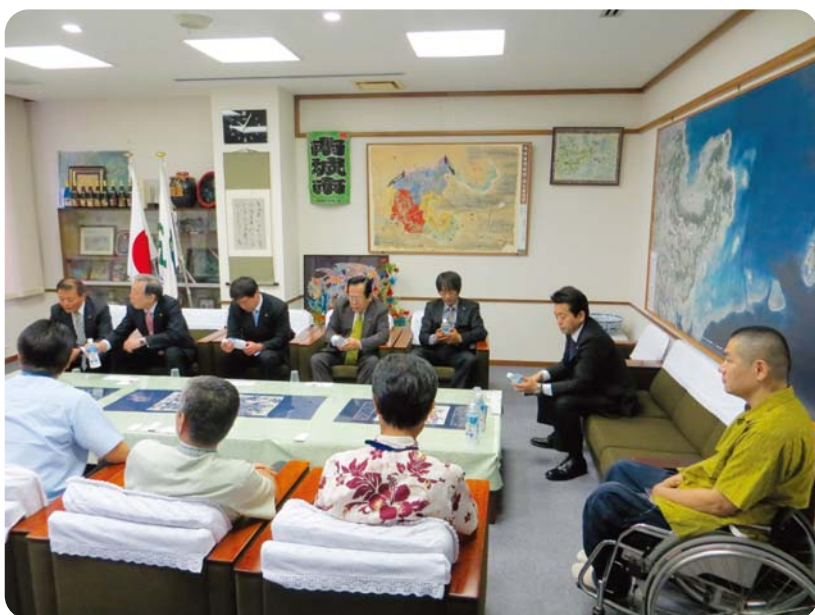
な小型レーダーなどを見せていただきました。仲介者や渉外官の方からは、米兵の地域への貢献活動や交流活動などの報告があり不祥事を起こす兵士は、ごく一部とのことでした。

「ゆるキャラなんじい」

視察最終日には、姉妹都市である南城市へ表敬訪問しました。

南城市マスコット『なんじい』について説明をしていただき、さまざまなシチュエーションに合わせて衣装や職を変えたいいうことで、一つのキャラクターを多方面に使用できるように工夫されていました。

今後も、先進的な活動や取り組みを実施している行政へ出向き本町発展に繋げていきます。



南城市役所 (4月23日)

国保

国保税を引き上げ



国保税額は、毎年被保険者の納税申告確定を、待って算出されます。

国保課税対象2343世帯のうち、7割軽減(708世帯)、5割軽減(383世帯)、2割軽減(319世帯)、軽減世帯の合計は1410世帯、軽減なし933世帯です。

国保税の算出基礎は、所得割、固定資産割、均等割、平等割で、医療給付費分、後期高齢者支援金分、介護納付金分の3つにそれぞれ率、金額が設定され、世帯に課税されます。

地方税法等の改正により、所得の低い人に配慮した保険税となっており、中間所得層の被保険者の負担に配慮されています。

これにより、5割軽減の世帯が前年度に比べ、

214から383となり169世帯、45%増となっています。

平成26年度の税額引き上げの要因として、国保の被保険者・世帯数ともに減少し、さらに医療費が増加傾向にあるためです。

前年度は税額が据え置きでしたが、今年度は最小限度の引き上げになりました。今回の改正は表のとおりです。

委員会の意見

特定検診の受診率向上による、予防医療と食生活の改善指導、医療費削減に努め、国保税特別会計の健全化と、税額の抑制に努力されることを要望しました。

全員賛成で可決

保険税の改正(26年度)

	一世帯当たり	一人当たり
医療給付費分	91,716円	51,905円
(前年度比)	(890円)	(1,843円)
後期高齢者支援金分	28,212円	15,966円
(前年度比)	(576円)	(734円)
介護給付金分	32,791円	24,947円
(前年度比)	(1,463円)	(1,560円)

手話言語法の制定を

請願を採択し意見書提出

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけて、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備が必要である。

提出先

内閣総理大臣
安倍晋三殿
他関係機関

調査
調報

未来を見据えた子育て支援

静岡県長泉町の、子育て支援事業の取り組みについて行政調査を行いました。

長泉町は人口4万2149人、面積26・51平方キロメートル、合計特殊出生率1・99です。

交通の利便性がよく新幹線で首都圏まで1時間、町内にJRの駅が2つ、東名高速道路や新高速道路が通り、あらゆる業種の工場が集まっています。

町内医療機関体制、生活関連事業も充実しており、暮らしやすい要因として、

- ① 利便性の高さ
 - ② 行政の取り組み
 - ③ 恵まれた自然環境
 - ④ 労働環境の優位
 - ⑤ 良好な住環境
- の5つが挙げられています。



「子ども育成課」

平成12年、行政改革の一つとして、保護者の立場に立った出生から中学までの窓口一本化を目指し、子ども育成課を設置しました。

現在も、当初意図した「住民の利便性」、行政内部での「子育て課題の共有化」「人材の有効活用」「幼、保、小、中学校との連携」など成果がみられます。

具体的な支援策として、中学校3年まで「医

療費の自己負担なしでの無料化」、平成11年には他の自治体に先駆け支援センターを設置、現在3施設です。

少子化、人口減少という社会の中で出生率が上昇し続けているのは、雇用の機会や交通の便に恵まれたことや、子育て支援策の効果でもあるとのことでした。

10年前より子ども育成課を設置し、未来を見据えた取り組みが現在の結果につながっていると思われま

調査
調報

少子化対策 結婚支援

茨城県常陸太田市の「人口減少、少子化対策」の取り組みについては、女性や仕事を持つ若者世代を、主なターゲットにした施策の重点化を図っています。

職場が他の市町村であったとしても結婚や出産、子育てしやすい環境を総合的に整備しています。

若者の定住を後押しすべく、新婚家庭の家賃助成及び、子育て家庭向け住宅取得促進助成、子育て支援ローンなどさまざまな施策を実施しています。

「結婚相談センター」

少子化対策では出生数減少の原因とされている、結婚する人の割合の低下と、夫婦の子ども数の低下の改善に乗り出しました。

結婚相談センター「YOUネット」を運営し交



流会など実施、結婚相談の窓口として、出会いから結婚までお手伝いしてくれる専門の相談員が、紹介などを無料で行っているそうです。

夫婦の子ども数の増加に向けては、乳幼児1人当たり2万円を限度におむつ購入費を助成。

その他、不妊治療費・妊婦医療費助成や、保育料の減免などさまざまな軽減策を講じています。

また、「子育て上手常陸太田」というキャッチ

フレーズと統一デザインによるパンフレットやポスターを作成、子育て環境の良さや各種支援策のPR活動に取り組んでいます。

子育て支援の意見や要望などを聞く「子育てトークカフェ」も開催、意見を受けて支援の充実を図っています。

課題として施策には、一自治体では限界があり、国や県を巻き込んだ取り組みが不可欠との話でした。

一般質問

しんから聞くばい!!

町長に5人が質問

一般質問は議員の日常活動や考え方にに基づき、町長もしくは教育委員長に対する質問の要旨をまとめ、指定日までに議長に通告します。

1人の制限時間は60分。一問一答方式で町長などの基本方針をたずねるもので町政全般について自由な質問が許された議員の権利で、町民の身近な課題や町政発展に関わる質問を活発に議論しています。

議会日より、紙面が限られているので原稿は1人600字以内に制限しています。
町民のみなさんの傍聴をお待ちしています。



佐藤久生議員

観光開発の推進を

町長 調査研究をする

問 ②毎年、尾橋溪谷もみじ祭りを実施してきたが支援はできないか。

り活性化に繋がると考えられる。
大内での行き止まりを国見ヶ丘への周回コースへ改良できないか。

町長 ②地域活性化、地元意識高揚の観点から協議会と協議し支援を検討する。

町長 ③県道土生・高千穂線整備促進期成会を中心に、県土整備部に対し更なる改良促進の要望に取り組む。

問 ③広域農道が完成すれば通行量が増加し、物流が盛んになる。

増加し、物流が盛んになる。

問 ①真名井の滝を中心に上流、下流約7キロが、祖母・傾国定公園第一種特別地域に指定されているが、活用されているのは滝周辺だけである。
この狭い所に年間140万人以上が訪れ、連休などは大混雑となる。
混雑解消策として、奥高千穂峡と呼ばれる通称尾橋溪谷を開発し、観光地の一つに加えないか。
高千穂峡を柱状節理の剛とすれば、尾橋溪谷は柔（大きなおう穴）と剛を合わせた第一級の景観と考える。
駐車場、トイレなどの最小限整備を行い、安全で安心できる遊歩道のコース作りはできないか。
町長 ①どのような方法でコースを整備するか時間をかけて調査研究する。



ごりゃあ絶景じゃ!!



富高友子議員

少子化対策は

町長 対策に繋がることを検討

問 ①国や地方自治体は、少子化の危機感から今後も対策が必要として雇用確保や子育て支援を掲げている。

町長 ①少子化対策に繋がることであり、町が助成する必要がある。
一般不妊治療費についても検討したい。

子供が欲しいと望んでもいてもらえない夫婦は、7〜10組に1組といわれており、高額な治療費への助成と一般不妊治療費についても対象とできないか。

問 ②結婚を望んでいても出会いが少ない独身者に、出会いや交流の場を提供する結婚相談センターの設立は。

町長 ③公園整備に300万円計上し、城山・神代川・総合公園の全面的改修を行う。
来年度、城山公園のトイレ改修なども検討中であり、TR跡地、折原第2グラウンドの一角にも公園、広場設置を考えている。

町長 ②組織を作るのではなく、ボランティアを通じて出会いや交流の場を提供する工夫をしたい。

問 ③子育て中の親子が、野外で遊べる広場や公園の設置はできないか。



子どもの元気は親の元気!



本願和茂議員

より安全な通学路整備を

町長 通学路の安全確保に努める

問 ①本町の通学路は、歩道が狭い区間や高さ数十メートルの橋などがあり危険性が高いと思われるが、どの程度危険箇所を把握しているのか。

今後関係機関と環境整備を図り、耕種的防除を反映させ生産者への啓発活動を行っていく。

町長 ①平成24年8月に通学路緊急合同点検を実施し20箇所の危険箇所を把握している。

町長 ②消防団と連携し大規模な野焼き実施日を制定しては。

町長 ③今後の統廃合によつてはスクー

策であるなら、消防団幹部会で協議をする。

町長 ②安全確保の有効な手段の一つとして考えているが、地域住民の十分な理解と公安委員会などの指導の下、

安全確保に努める。

問 ②スクールゾーン設置や学校周辺の速度規制「ゾーン30」を導入し、より安全な通学路整備が必要では。

安全確保に努める。

町長 ①トマト黄化えそウイルス「TSWV」被害が拡大しているが、農作物被害被害対策はできているのか。

封じ込めができていない状況である。



歩道がせまいは~

追跡

しんから

リポート

閉校した学校はどげなった？

各地域の活性化協議会が管理

五ヶ所小学校

- 平成22年3月31日に閉校
- 現在、利用者はなし
- 教室・グラウンド・体育館を定期的に清掃



上岩戸小学校

- 平成22年3月31日に閉校
- 現在、あさぎり会が、だんごやパン作りの食品加工場として利用
- 草刈・清掃は地域住民で奉仕作業



向山南小・中学校

- 平成20年3月31日に閉校。学校跡地活用活性化協議会は平成25年3月31日をもって解散
- 現在、高千穂ムラたび活性化協議会がどぶろくなどの加工に利用



向山北小学校

- 平成22年3月31日に閉校
- 現在、伊藤農園、竹炭工房なごみ、山の学校Route50が農産加工、竹炭づくり、食品加工に利用



川釣り楽しぬ～

問 ①全町民に各種補助金制度を周知し活用状況のチェック、効果検証はされているのか。

結果についても町民に公表すべきではないかと考え、以上の4件の補助金について問う。

松食い虫対策に補助金を組み防除がされているが、松は枯れ続けている。今後も継続が必要か。

町長 ①この防除作業によって今まで持ち堪えたと考えている。

問 ②西臼杵漁協に25万円の補助金が組まれているが、漁量増加の声は聞こえてこない。鑑札代は上がるばかりで町民の資源増加のために役立てられているのか。

町長 ②関係機関と協議し確認する。

問 ④地域人づくり、起業支援型地域雇用創造事業で多額の委託料が町内の数事業所に交付されている。事業終了後、雇用継続できない可能性もある。支援の機会を逃した事業者の理解を得るためにも、支援先や事業内容を広く公表し雇用責任を果たしてもらう必要があるのでは。

町長 ④来年度以降も同様の事業があるなら、しっかり周知していく。

問 ③優良雌牛導入補助金の対象牛が一部の関係者にしか知られていない。生産者、本町購買者も知らないのでは地元保留の促進にならないのでは。

町長 ③目的に沿うようにJ-Aと協議する。

問 ④地域人づくり、起業支援型地域雇用創造事業で多額の委託料が町内の数事業所に交付されている。事業終了後、雇用継続できない可能性もある。支援の機会を逃した事業者の理解を得るためにも、支援先や事業内容を広く公表し雇用責任を果たしてもらう必要があるのでは。

町長 ④来年度以降も同様の事業があるなら、しっかり周知していく。

問 高齢化が進行し65歳以上の約7人に1人が認知症と言われている。

本町でも、要介護・支援認定者数の半数以上に認知の症状が見られる。先進地では認知症状者の履物にステッカーを貼り、「赤色なら役場に連絡」「黄色なら声かけ」など地域で見守る対策がある。本町もステッカーの導入はできないか。

町長 本町に相応しい効果的な、認知症高齢者の見守りやサポート事業を推進する。



知らず知らずのうちに健康づくりを実践し、結果、「健康の素晴らしさに気づく」取り組みとして広がっている。

超高齢化社会を見据えた対策として、健康マイレージの導入はできないか。

町長 健康診断受診リピーターが年々増加し、受診率向上に結びついている。

各種検診についても県平均を上回っており健康マイレージ導入が、本町における更なる受診率向上に繋がるようであれば、意義のあることであり調査し検討したい。



飯干清喜議員

補助金の効果検証は

町長 今後も協議し周知を図る



中島早苗議員

地域で見守る対策を

町長 見守り・サポート推進する

押方 日赤奉仕団

たかちほ

女性
シリーズ

笑顔

元気

押方日赤奉仕団のメンバーは頼母子会のメンバーでもあり、ほとんどがJA女性部でもあります。みんなとてもパワフルで元気いっぱいです。

昭和 39 年 7 月、日赤奉仕団押方分団が結成されました。

年間行事を決め活動しています。花壇の手入れや、祭りの手伝いなど地域に根ざした活動をしています。



現在 50 代から 70 代後半のメンバー 19 名です。

月一回みんなで集まります。日頃忙しく会えないので、集まると話が絶えず情報交換もでき、あっという間に時間が過ぎてしまいます。

お花、弓、パッチワーク、刺し子などの先生もいて、人材の宝庫です。



奉仕団の活動はお姑さんから、お嫁さんへ受け継がれています。

人のために何かできる奉仕の心も受け継ぎ、次の世代に伝え、これからも皆で仲良く協力しながら活動していきたいと思っています。

どうぞ傍聴席へ

次の定例議会は 9 月 3 日開会予定です。

傍聴の申し込みは、
お気軽に議会事務局に
お尋ねください。

TEL73-1219

(議会事務局直通)

発行責任者

議長 佐藤 定信

議会報編集委員会

委員長 工藤 博志

副委員長 本願 和茂

委員 富高 友子

委員 坂本 弘明

委員 佐藤 久生

委員 中島 早苗

編集後記

議会が閉会すると早速議会だよりの編集です。原稿渡しまでに、写真撮影や、取材、原稿作成と編集作業はひと仕事です。

仕上げて印刷ができる
と校正を2回します。

文言や誤字・脱字の訂正などをしたり、写真の説明はより身近にと方言を使います。

町民の皆さんが親しみを
感じ、すぐに手に取って読みたくなるように、
委員全員で編集に奮闘しています。

今後とも議会だよりを
愛読していただけるよう
頑張ります。(T・T)